

# LOBO 調査

## 早期景気観測

5月分 日商調査日 5月16日～22日  
当所調査日 5月14日～23日

### LOBO調査とは

全国各地の商工会議所が参加して、日本商工会議所が実施する全国規模の早期景気観測調査。当所ではさらに、会員企業40社の皆さまにも調査へのご協力をいただき、より地域に根差した調査を実施。

### 日商調査

5月の全産業DI ▲11.4

(前月比+2.6ポイント)

### ○中小企業の景況感

製造業は、需要が堅調な飲食品関係や自動車関係を中心に、改善した。卸売業も飲食品関係の引き合い増で、改善した。また、サービス業も、大型連休を中心とした国内外の観光需要の増加で、改善した。一方、小売業は、物価高に伴う消費者の買い控え継続で力強さを欠き、建設業は、建築資材価格の高騰や住宅関係の需要低迷で足踏みをしている。

企業間取引を中心に一定程度の価格転嫁の進捗が見られるものの、輸送費やエネルギー価格、労務費の上昇分には追い付いていない。深刻な人手不足や円安などによるコスト増も継続しているが、堅調な観光需要などが下支えし、中小企業の業況は5カ月ぶりに改善となった。

### ○先行き

先行き見通しDIは▲13.4

(5月比▲2.0ポイント)

高水準での賃上げや定額減税の開始に伴う可処分所得の増加による、個人消費の拡大が期待される。

一方、歴史的な円安などで物価高が継続する中、電気・ガス代への激変緩和措置も終了となり、一層の収益悪化が懸念される。また、労務費を含むコスト増に対する価格転嫁が十分に行えていない中、深刻な人手不足による受注機会の損失も生じており、先行きは慎重な見方が続いている。

### 【関東ブロックの業況についてのコメント】

働き方改革への対応や生産性向上を目的として、建設DXの導入を進めている(舗装工事業)。

エネルギー価格・輸送費などの高止まりや、人材の定着に向けた賃上げの実施を鑑み、メニュー価格を改定した。また、円安の影響により、インバウンドの消費額が伸びている(飲食店)。

### 当所調査

### 「売上悪化、価格高騰の影響が続く」

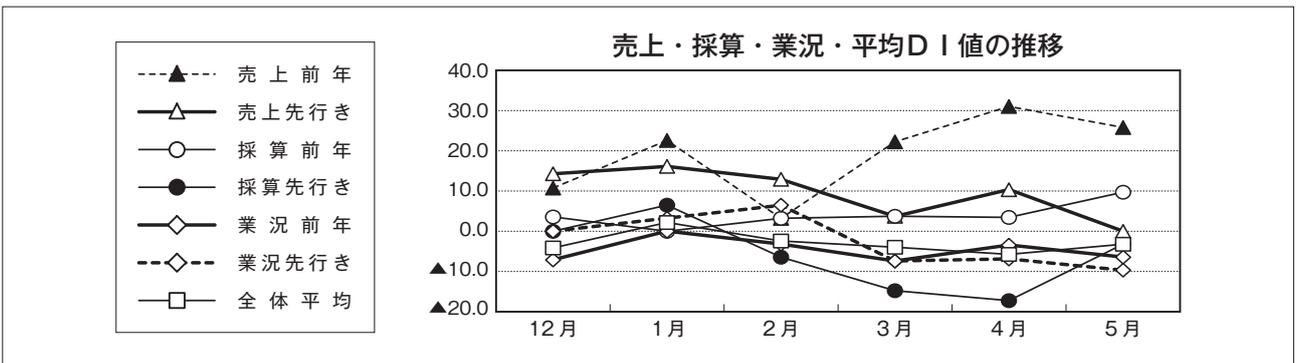
全体平均DIは▲3.2で前月に比べ2.5ポイントの改善。項目別では、売上前年▲5.2、売上先行き▲10.3と両項目で悪化した。コメントには、「4月から5月は、入札物件が少なく閑散期である(管工事業)」や「受注は確保しているが、燃料費などの価格高騰による影響が大きい(観光バス・旅行業)」といった声が寄せられた。前月と比べ、売上の悪化が見られたほか、価格高騰による影響が全業種に見られる。

(全産業)

## 水戸商工会議所会員企業LOBO調査(DI値推移)

(サンプル数40社)

| 項目    | 令和5年  |       | 令和6年  |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|       | 5月    | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 4月    | 5月    |
| 売上前年  | 12.1  | 10.7  | 22.6  | 3.2   | 22.2  | 31.0  | 25.8  |
| 売上先行き | 12.1  | 14.3  | 16.1  | 12.9  | 3.7   | 10.3  | 0.0   |
| 採算前年  | ▲9.1  | 3.6   | 0.0   | 3.2   | 3.7   | 3.4   | 9.7   |
| 採算先行き | ▲9.1  | 0.0   | 6.5   | ▲6.5  | ▲14.8 | ▲17.2 | ▲3.2  |
| 仕入前年  | ▲66.7 | ▲71.4 | ▲61.3 | ▲64.5 | ▲55.6 | ▲51.7 | ▲61.3 |
| 仕入先行き | ▲51.5 | ▲53.6 | ▲54.8 | ▲45.2 | ▲51.9 | ▲58.6 | ▲58.1 |
| 社員前年  | 24.2  | 32.1  | 38.7  | 29.0  | 25.9  | 17.2  | 32.3  |
| 社員先行き | 27.3  | 25.0  | 38.7  | 25.8  | 25.9  | 17.2  | 29.0  |
| 業況前年  | ▲3.0  | ▲7.1  | 0.0   | ▲3.2  | ▲7.4  | ▲3.4  | ▲6.5  |
| 業況先行き | ▲3.0  | 0.0   | 3.2   | 6.5   | ▲7.4  | ▲6.9  | ▲9.7  |
| 資金前年  | ▲6.1  | 3.6   | 9.7   | ▲3.2  | 7.4   | 0.0   | 3.2   |
| 資金先行き | 0.0   | ▲7.1  | 6.5   | 12.9  | 0.0   | ▲10.3 | 0.0   |
| 全体平均  | ▲6.1  | ▲4.2  | 2.2   | ▲2.4  | ▲4.0  | ▲5.7  | ▲3.2  |



※DI値(景況判断指数) = (増加・好転等の回答数 - 減少・悪化等の回答数) / 全回答数 × 100。ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナス値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものでなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味するもの。